

開講学年	3	入学年度	11～	対象学科	法
区分	無印:選択科目	単位数	2	ナンバリング	LS321
科目名	法思想史B				
担当者	岡寄 修				
講義目的 講義内容	<p>19世紀末のアメリカでは、急速に発展した資本主義の下で、レッセ・フェール（自由放任主義）の経済思想と、契約自由の原則が非常に重視されていました。この原則は、封建的身分社会を一掃した反面、働かない自由がない労働者に、雇主と対等の立場での契約を迫るなど、過酷な一面も有していました。</p> <p>このため、19世紀末から20世紀初めのアメリカでは、とりわけ労働契約に関連し、この契約自由の原則を巡って、自由を優先すべきか、それとも規制を容認するかが、法律上の重要な争点になりました。こうした中で、アメリカ連邦最高裁が下したある判決を契機に、それが後に熾烈な法解釈論争にまで発展しました。</p> <p>この講義では、日本の民法における解釈技法の諸問題も取り上げながら、アメリカにおけるこの論争を通じ、法の解釈とはどのような作業なのかを見てゆきます。法律は、ことば(概念)による社会コントロールの技術です。そこで最初の段階で、概念とは何なのか、概念の実体化にはどのような弊害が伴うのかなどの説明から入ることになります。</p>				
到達目標	<p>法の解釈は、一見するとことばの意味を巡る争いのような外観を呈していますが、時代背景や考え方も視野に入れ、それが決してことばの上での争いではないことを理解できるようになる。/ 法の解釈においても、ことばの遊びに踊らされることが防げるようになる。</p>				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法解釈の具体例 2. 言葉と概念の実体化 3. 権利が発生するとは？(概念の実体化1) 4. 矛盾なき法理体系は何のため？(概念の実体化2) 5. 契約自由の原則と労働契約(19世紀アメリカの自由労働運動1) 6. 契約自由の原則はどこに問題があるか(19世紀アメリカの自由労働運動2) 7. 法の解釈は科学か:(ロックナー対ニューヨーク事件) 8. まとめと小テスト 9. 法は紛争解決の一手段(プラグマティズム法学1) 10. コーヒーで火傷して賠償金3億円!?(プラグマティズム法学2) 11. 概念法学への批判(プラグマティズム法学3) 12. 法的事実とは何か(リアリズム法学1) 13. ジェローム・フランクの事実認定論(リアリズム法学2) 14. 法律家は三段論法に従ってものを考えるか?(リアリズム法学3) 15. 法解釈論争のまとめ 				
履修の条件・準備学習・注意事項	<p>20世紀初めのアメリカにおける法解釈論争は、決して過去の一時期の問題などではありません。今日の社会の変化とも密接に絡んでいます。日本の民法を初めとするさまざまな法の解釈技法にも絡むものですから、これを現在の問題だと思って講義に臨んでください。</p>				
成績評価基準方法	<p>定期試験と中間で行う小テスト、さらにレポート課題の出来具合を合算して評価を下します。</p> <p>また、受講者の理解の度合いは、質問を聞くことを通じて判断できますので、講義中に良い質問があれば、それも加点対象として扱います。</p>				
テキスト	教科書は使わず、資料の引用を含む自前のテキストを配布します。				
参考書	<p>川島武宜『科学としての法律学』(1964, 弘文堂)[川島武宜著作集にもある]</p> <p>ジェローム・フランク/棚瀬訳『法と現代精神』(1974, 弘文堂)</p> <p>M・L・ベネディクト/常本訳『アメリカ憲法史』(1994, 北大出版)</p> <p>その他はプリントを通じて指示します。</p>				
備考					

(この様式はシラバスとセットにしてホームページに掲載します)

朝日大学「法思想史B」の受講を希望する学生にシラバスに記載されていない情報を提供します

科目名	法思想史B
時間割	毎週月曜日 2時限目 10時45分開始 12時15分終了
初回の授業日	2017年9月25日(月)
講義室	朝日大学穂積キャンパス 6号館 6813講義室
注意事項	・12月27日から翌年1月5日までは、冬季休業期間です。 ・自動車による通学は禁止です。(どうしても必要な場合は、民間駐車場を借りてください。)
授業についての 問合せ	受講に関するお問合せは、朝日大学学事二課 TEL 058-329-1079 まで

地図	
交通アクセス	J R穂積駅から大学スクールバス(無料)で約5分